



武蔵野

学校だより NO. 7
令和 5年 11月号
昭島市立武蔵野小学校
校長 大河原 博



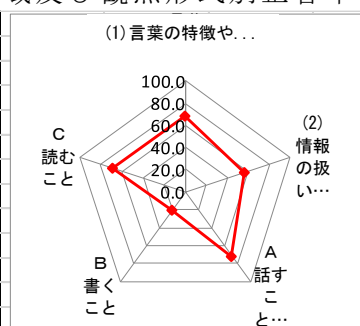
武蔵野小 HP

先日の運動会には、多くの皆様にご来校いただきありがとうございました。児童たちも活躍を披露できる場を得て、存分に力を発揮することができました。学校でも一人一人のがんばりを価値付けながら、次の更なる活動につなげて参ります。

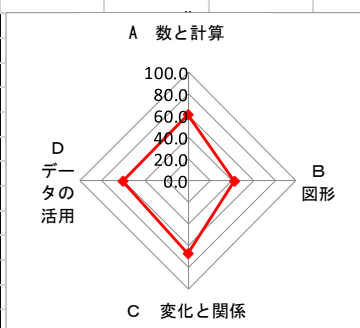
さて、1学期に実施した学力調査、体力調査の結果について、一部ではありますがお知らせいたします。この結果を踏まえ、更なる学力向上、体力向上を目指し授業改善等、今後の教育活動に生かして参ります。

6年 全国学力調査結果より（4月実施）学習指導要領内容・領域及び観点形式別正答率

国語 本校全体正答率は64%（全問題数14）		関連問題数	正答率(%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5 67.9
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2 56.2
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0 関連問題なし
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3 71.6
		B 書くこと	1 19.8
		C 読むこと	3 69.5
評価の観点	知識・技能	7 64.6	
	思考・判断・表現	7 63.3	
	主体的に学習に取り組む態度	0 関連問題なし	
問題形式	選択式	9 72.0	
	短答式	2 55.6	
	記述式	3 45.3	



算数 本校全体正答率は57%（全問題数16）		関連問題数	正答率(%)
学習指導要領の領域	A 数と計算	6 61.5	
	B 図形	4 42.9	
	C 測定	0 関連問題なし	
	C 変化と関係	4 66.7	
	D データの活用	3 60.5	
評価の観点	知識・技能	9 63.9	
	思考・判断・表現	7 48.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0 関連問題なし	
問題形式	選択式	5 56.8	
	短答式	7 70.4	
	記述式	4 33.6	



全国学力調査の結果は、残念ながら本校の正答率は、国語・算数とも都や国の平均よりも低い値になっています。その中でも国語「書くこと」に関わる正答率が非常に低くなっています。問題形式を見ても国語・算数双方で記述式の正答率が低くなっています。これは、都や国に関しても同様の傾向が見て取れますが、本校ではそれが顕著になっていました。具体的な対応としては、「令和5年度 授業改善推進プラン」を作成し、その中に盛り込みました。本校ホームページに掲載しますので、そちらもご覧ください。

全学年 全国体力調査結果より（6月実施）体力合計点の平均値及び都・全国との比較

学年	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
武蔵野小	29.4	30.4	39.6	36.9	44.4	44.3	45.6	54.6	54.5	56.2	60.3	63.6
全国との比較	-1	+0.2	+1.7	-0.9	-0.4	-0.1	-4.7	+3.7	-1.1	-0.9	-1.2	+1.5
全国平均値	30.4	30.2	37.9	37.8	44.8	44.4	50.3	50.9	55.6	57.1	61.5	62.1
都平均値	29.1	28.7	36.4	36.2	42.4	42.5	47.8	48.6	53.1	54.5	58.9	59.6

ご覧のように、体力調査の結果はほぼ全国平均並みで、ほとんどの学年が都平均よりも高い値になっています。本校は昭島市の中でもかなりの上位に位置する結果となりました。芝生による日常的な外遊びの活性化、体育授業少人数加配による1時間当たりの運動時間の確保、放課後子供教室もりもりパークの実施など、予想される要因は数多くあります。もちろん「むさしのオリンピック」など体力向上への取組の効果も表れていると思います。種目ごとの詳しい調査結果も分析しながら、今後の体力向上への取組に生かしていきたいと思っています。